



暑い夏、エアコンをつければ室内は涼しくなりませんが、室外機からの排熱により、屋外はますます暑くなります。また、電気を使うので、二酸化炭素が排出され地球温暖化にもつながります。エアコンの使用をできるだけ控えて、夏を涼しく過ごす工夫として、みどりのカーテンが広がっています。みどりのカーテンは、朝顔やゴーヤなどのつる性の植物を窓辺にカーテン状に育てるもので、日差しを遮るだけでなく、花を楽しんだり、ゴーヤを収穫して食べるなど、楽しく、涼しく夏を過ごせます。

家庭でも、学校でも、職場でも、地域でもできる

涼しく作るぞみどりのカーテン

だれにでもできる・緑がきれい・見た目にすずしい・本当にすずしい・おいしいおまけも

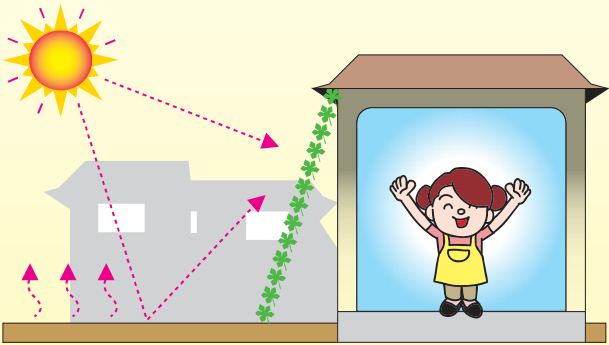
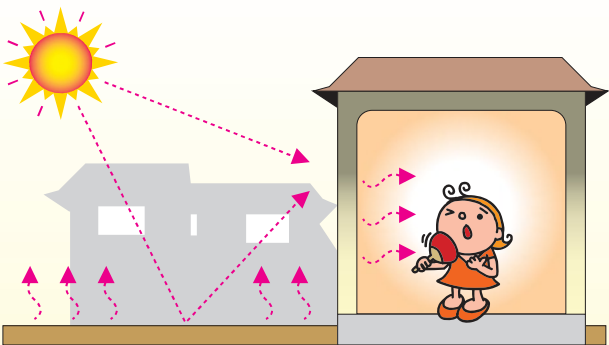


編集・発行

京都府地球温暖化防止活動推進センター (特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

〒604-8417 京都府京都市中京区西ノ京内畑町41番3
TEL: 075-803-1128 FAX: 075-803-1130
E-mail: center@kfca.or.jp URL: http://www.kfca.or.jp

※この冊子は環境省補助事業「地域活動支援事業」の一環として作成したものです。



※放射熱: 物体から物体へと目に見えない光のように伝わる熱のこと

□ みどりのカーテンはなぜ涼しいの？

みどりのカーテンは家のまわりにあるさまざまな熱を部屋にいれないことにより、私たちが涼しく過ごすことができる空間を作り出してくれます。

1. 窓から入り込む日射を遮るから！

日射が窓から室内に差し込むと、室内の温度は大きく上昇してしまいます。みどりのカーテンは、葉がきちんと茂っていれば、日射が持つ熱エネルギーのなんと 8 割以上をカットすることができるのです。

2. まわりの物体の表面温度を抑えるから！

部屋のまわりにある物体、例えば、窓付近の地面や壁が日射をうけ、その表面温度が上昇すると、そこから発せられる放射熱(※)も増大します。

みどりのカーテンを設置する事によって、壁や地面の表面温度を低く保つことができ、室温も下げられますし、人体に伝わる放射熱も小さくできるので涼しく過ごせるのです。

3. 蒸散作用で冷やすから！

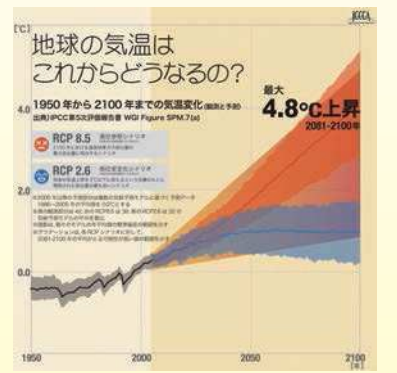
植物は、成長するために水分を吸収し葉から蒸発させています。これを蒸散と呼びます。水分が蒸発する時にまわりから熱を奪いますので、葉から室内への放射熱が少なくなり、涼しく感じます。このため、みどりのカーテンは、簾(すだれ)よりもさらに涼しくする効果が大いなのです。

□ 地球温暖化問題とは

大気中の二酸化炭素は、地表から出される熱を吸収して再び放出する(地球にはね返す)性質を持っています。産業革命以降、人類が大量に化石燃料を燃焼させるようになったせいで、大気中の二酸化炭素濃度が急激に上昇し、地表の気温が上昇しています。これが地球温暖化です。地球温暖化が進めば、

- ・生態系に大ダメージが及ぶ
- ・自然災害の被害が増大する
- ・海面が上昇する

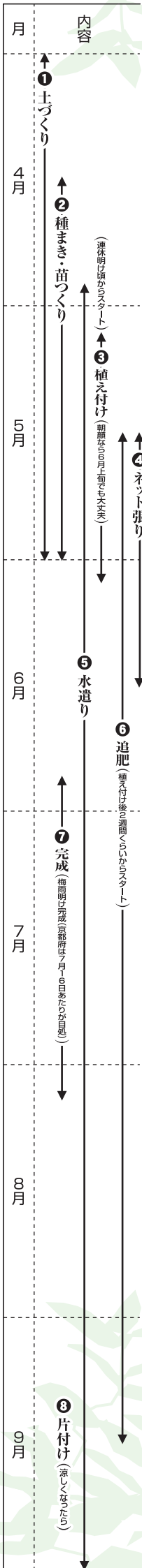
などの深刻な被害が引き起こされると予測されています。そのため、今と同じような生活を続けることが困難になるでしょう。



みどりのカーテン作り方講座

※八幡市でのゴーヤ育成記録にもとづき作成しました。

栽培暦



みどりのカーテン(ゴーヤ編)を作ってみよう



① 土づくり

プランターが一番下に鉢底石を敷きます。その上に培養土を入れます。土をほぐしながらふんわり入れましょう。ゴーヤの場合は、園芸土・腐葉土・鹿沼土を、5:4:1の割合をお勧めします。



② 種まき・苗作り

直播きをする場合は、苦土石灰・発酵牛糞・化成肥料等を入れてよく耕し土づくりをしておきます。プランターに蒔く場合は、培養土を使って蒔き床にします。種まきは4月中旬～5月上旬ごろが目安です。ゴーヤの発芽温度は25度～30度で、発芽には2～3週間かかる場合があります。いずれもポリフィルムやホットキャップなどで覆うと発芽が早まります。



③ 植え付け

プランターに苗を植える場合、50ℓの大きさのプランターに対して苗を1本植えるのがお勧めです。苗の成長の度合いは、根がしっかり張るための土の量で決まるといわれています。また乾燥防止のために、土の表面に藁など敷くと効果的です。



④ ネット張り

つるが伸びる前にネットを張っておきます。つるが伸びてきたらつる先をネットにからませます。



⑤ 水遣り

水遣りは毎日、朝と夕方にたっぷり遣ってください。真夏で乾燥していたり、しおれてしまっている場合などは昼間でも水をやりましょう。



⑥ 追肥

追肥は植え付け後2週間おきくらいに行います。水をしっかりやっているのに葉っぱが黄色くなったら、肥料不足です。成長の状況を見ながら追肥します。ただし、やりすぎにも注意しましょう。

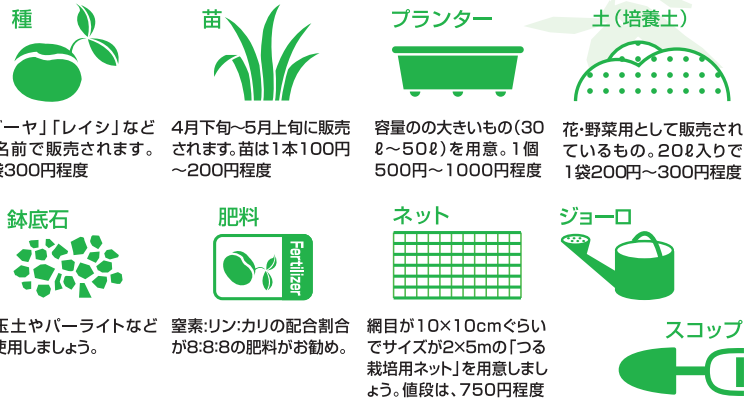


⑦ 完成・収穫

梅雨明けの7月中旬ごろにみどりのカーテンが完成します。この時期にはたくさんの実がなり、収穫を楽しむことができます。実が完熟するとオレンジ色に変わって中が割れてきます。

⑧ 片付け 秋口涼しくなったら、ネットをおろしましょう。ネットに巻きついていたりつるは取り除きます。種を採取して乾燥させ来年度に冷暗所で保存しましょう。

用意するもの みどりのカーテンを育てる時に必要なものです。すべて園芸店やホームセンターで手に入れることができます。今、すでにお持ちのものはそのまま使うことができますので、足りないものを購入しましょう。



こんな植物でもできます

みどりのカーテンはゴーヤで作られる場合が多いようですが、朝顔や琉球朝顔、インゲン、きょうり、ひょうたん、へちま、ふうせんかずらなどで挑戦してみてもよいでしょう。また、プランター植えの場合は、数種類のつる性植物をプランター別に育てて、1枚のネットに絡ませて楽しむ方法もあります。作り手が楽しく作ることが、みどりのカーテンを継続的に毎年作ることに繋がります。

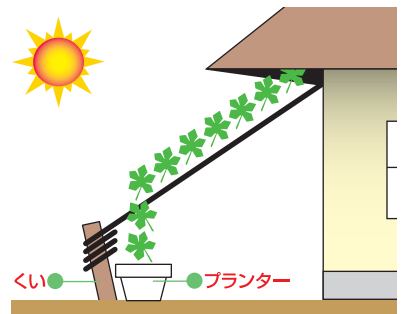


ここがポイント! ネット張り

ネットの張り方

ネットは、できるだけピンと張ります。杭をうちつけて、ネットの下側を結びつけるとしっかりと張ることが出来ます。また、可能であれば、竹などの細い棒を通してネットの上下端を引っ張っておくとより効果的です。

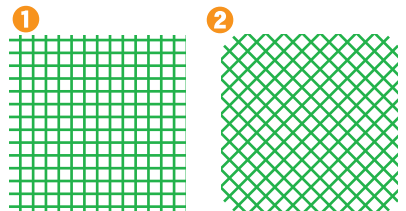
また、ネット上部は屋根の先端に取り付けるのではなく、軒の奥深くに取り付けます。こうすることで、植物が屋根に上るのを防げます。



ネットの選び方

ゴーヤーの場合は、網目の角度は①でも②でも構いません。

ただし、やまいもや朝顔など、まきついでにのぼる性質を持った植物は、①のようなものを選びます。この場合、縦のひもを特にピンとはっておくことが重要です。



収穫も楽しもう 収穫したゴーヤを料理で食べてみましょう。ゴーヤの天ぷらやジュース、お浸しなどで味わいましょう。中には乾燥させてゴーヤ茶を1年中楽しむ人も。食べる楽しみ方もいろいろありそうです。



こんな楽しみ方も 秋になり涼しくなってきたらみどりのカーテンを片付けますが、そのときにつるを取っておき、かごやリースにするのも楽しいもの。琉球朝顔やゴーヤのつるでおしゃれな小物に変身させましょう。

